

住宅火災を防ぐ

住宅用火災警報器等が既存住宅にも設置義務化されました！！

既存住宅 平成20年6月1日から



この制度は、近年における住宅火災による死者数が急増していることや、今後、高齢化の進展を受けて死者数がさらに増加するおそれがあることから、住宅防火対策の見直しを行い消防法が改正されたことにより、全国一律に全ての住宅に（アパート等を含む）設置及び維持が義務づけられました。

また、設置から10年目を経過することから点検・清掃などの維持管理もお願いします。

印西地区消防組合

こんな場所に設置

- Ⓐ**：寝室 就寝に使われる部屋に設置します。
Ⓑ：寝室がある階の階段（※１・※２）に設置します。
Ⓒ：寝室がある階（※２）から、２つ下の階の階段（※３）に設置します。
Ⓓ：寝室が１Ｆにのみある場合は、居室のある最上階の階段に設置します。
 ※ 廊下：寝室を除く居室（床面積 7㎡以上）が５以上ある階の廊下に設置します。
 ※ 台所：設置義務はありませんが、設置することを推奨します。

※設置が免除される住宅

自動火災報知設備、スプリン

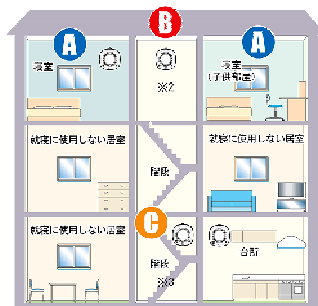
クラー設備が設置されている

住宅の部分

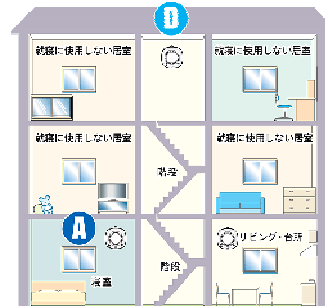


このマーク「鑑定マーク」のついているものを選びましょう。

3階建て以上の例(1)



3階建て以上の例

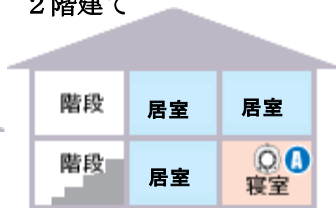


住宅用火災警報器を設置する部屋・・・設置例

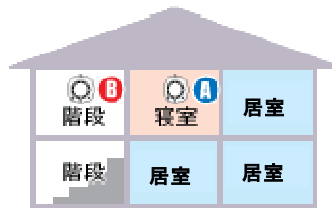
1階建て



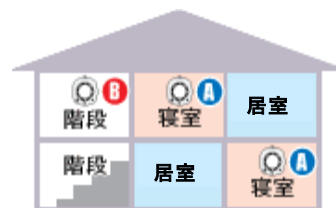
2階建て



寝室1Fのみ

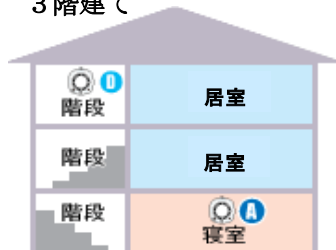


寝室2Fのみ



寝室1F・2F

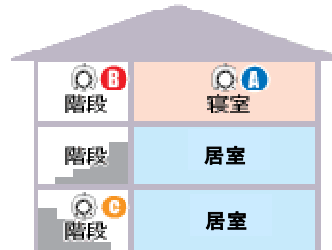
3階建て



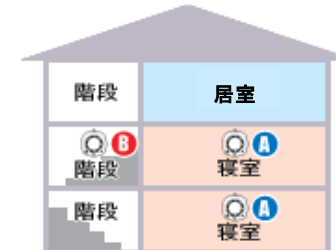
寝室1Fのみ



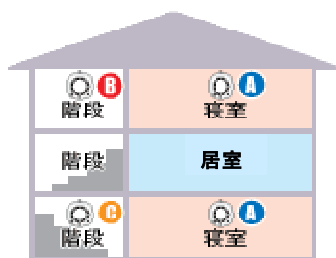
寝室2Fのみ



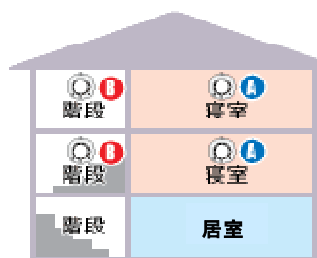
寝室3Fのみ



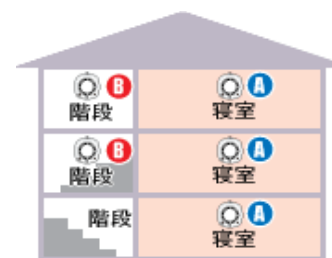
寝室1F・2F



寝室1F・3F

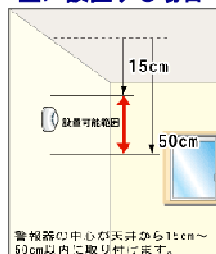


寝室2F・3F

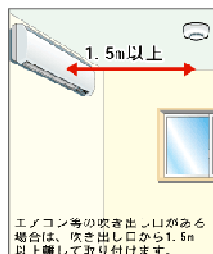
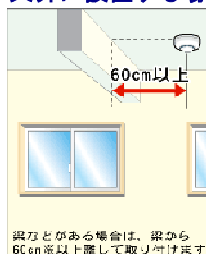
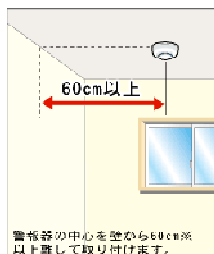


寝室1F・2F・3F

壁に設置する場合



天井に設置する場合



☆注意事項☆

悪質な訪問販売にご注意ください！

印西地区消防組合では、住宅用火災警報器を直接販売することや室内に入っの点検は実施しません。

イラスト：ホーチキ㈱から転載

問合せ先
 印西市牧の原 2-3
 消防本部予防課指導調査係
 0476-46-9974